

スクールロイヤー研究会 第2回



スクールソーシャルワーカーとスクールロイヤーの連携の可能性と課題

— スクールソーシャルワーカーの立場から —

日時：2023年**8**月**4**日(金) 14:00~16:30 参加費：なし

会場：名古屋大学教育学部／大会議室（1F）

全国の自治体で導入が進められているスクールロイヤー（制度）は、こども基本法が施行された今、学校の多忙化解消以上に、子どもの権利保障や子どもの豊かな成長発達に資する活動の在り方が求められています。スクールロイヤーが、日弁連の定義にあるような「子どもの最善の利益の観点から、教育や福祉、子どもの権利等の視点を取り入れながら継続的に助言する弁護士」として、より効果的に機能するためには、学校における教育関連専門職、特にスクールソーシャルワーカーとの連携がきわめて重要になります。両者の連携協働を可能にする条件はどのようなものであるのか、また、今日の学校文化の中でそこにはどんな課題があるのか、早川真理氏に報告していただきます。ご報告の後、SSWrの皆さんと弁護士の方々と意見交換を行い、議論を深めたいと思います。

報告者：早川真理氏（日進市教育委員会スクールソーシャルワーカー
スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー）



<プロフィール：早川真理氏より>

子育てが一段落したのを機に愛知県立大学及び大学院で社会福祉を学び、CAPNA 事務局スタッフを経て、2013 年から日進市教育委員会スクールソーシャルワーカー、2016 年からスクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー。山本・望月・愛知県立大学「教育福祉学研究会」編著『教育と福祉が会える支援』（溪水社、2023 年）に「発達障がい事例」を執筆。

<会場アクセス>

地下鉄「名古屋大学」下車。現在、地下鉄と中央図書館をつなぐ通路の工事をしております。少し大回りになりますが、矢印に沿ってお越し下さい。分からなければ、下記までお尋ね下さい。

<研究会連絡先> 090-9927-6522（松原信継）